

第72回全国植樹祭 開催候補地選定個別評価表

資料2-1

番号	項目	甲賀市		長浜市		湖南市		東近江市		多賀町				滋賀県									
		鹿深夢の森	評価	水口スポーツの森	評価	余呉町菅並地区	評価	野洲川親水公園	評価	ひばり公園	評価	B&G海洋センター	評価	富之尾地区	評価	高取山ふれあい公園	評価	陶芸の森	評価	希望が丘文化公園(芝生ランド)	評価	希望が丘文化公園(多目的広場)	評価
I 会場の面積要件等(必須条件)																							
1	式典会場【1.0ha以上】	1.8ha	適	1.9ha	適	1.0ha	適	3.3ha	適	1.0ha	適	1.5ha	適	1.0ha	適	1.5ha	適	1.0ha	適	5.7ha	適	3.3ha	適
2	おもてなし広場【0.5ha以上】	1.0ha	適	0.7ha	適	0.5ha	適	2.8ha	適	0.7ha	適	0.5ha	適	0.5ha	適	2.0ha	適	0.5ha	適	1.0ha	適	1.0ha	適
3	駐車場【施設外含む】 【大型バス200台以上】	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	適	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	適	200台以上 施設外:200台以上	適	200台以上 施設外:200台以上	適	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	適	200台以上 施設外:200台以上	適	200台以上 施設外:200台以上	適	200台以上 施設外:200台以上	適	200台以上 施設内:50台 施設外:150台以上	適	200台以上 施設内:200台以上	適	200台以上 施設内:140台 施設外:60台以上	適
4	植樹会場(特別招待者用) 【施設内または隣接地】 【1.0ha以上】	1.0ha 施設内:1.0ha	適	1.4ha 施設内:1.4ha	適	1.0ha 隣接地:1.0ha (徒歩5分)	適	1.1ha 施設内:1.1ha	適	1.2ha 施設内:0.2ha 隣接地:1.0ha (車10分)	適	3.0ha 隣接地:3.0ha (徒歩1分)	適	2.0ha 隣接地:2.0ha (徒歩1分)	適	2.0ha 隣接地:2.0ha (徒歩1分)	適	35.0ha 施設内:35.0ha	適	8.6ha 施設内:8.6ha (子ども広場)	適	1.1ha 施設内:1.1ha (桜の森)	適
II 植樹祭の会場としての適性(使いやすさ等)																							
1	土地利用に関する制約	・管理者:市(市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要 ・法令等:都市公園法	制約なし◎	・管理者:市(県,市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者が多い(スポーツ大会等) ・法令等:都市公園法	若干制約あり○	・管理者:独立行政法人水資源機構(同機構所有地) ※開催後の植栽木等管理は市、地元自治会を想定 ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要	制約なし◎	・管理者:市(市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者が多い(スポーツ大会等) ・法令等:河川法 ◆河川区域内であり、浸水の恐れあり	制約あり△	・管理者:市(市有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要	制約あり△	・管理者:町(町有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要	制約なし◎	・管理者:大滝山林組合(同組合所有地) ※開催後の管理については今後検討 ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要 ・法令等:森林法 ◆保安林解除が必要	制約あり△	・管理者:大滝山林組合、多賀町(同組合所有地、町有地) ※開催後の管理については今後検討 ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):調整不要 ・法令等:森林法 ◆保安林解除が必要	制約あり△	・管理者:県(県有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整(利用不可能な期間あり) ◆信楽作家市(毎年5月上旬)に開催:当施設を利用)	制約あり△	・管理者:県(県有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者が多い(スポーツ大会等)	若干制約あり○	・管理者:県(県有地) ・利用期間(前年11月頃~当年8月頃):要調整 ◆一般利用者が多い(青年の城宿泊者等)	若干制約あり○
2	会場整備に要する経費	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	ほぼ不要◎	経費:26,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	一定必要○	経費:29,000千円 ・土工(整地):1ha 3,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	一定必要○	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	ほぼ不要◎	経費:27,000千円 ・仮設道設置:100m 1,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	ほぼ不要◎	経費:26,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	一定必要○	経費:30,000千円 ・土工(整地):1ha 3,000千円 ・仮設道設置:100m 1,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	一定必要○	経費:47,000千円 ・樹木伐採:1ha 3,000千円 ・土工(切土整地):1ha 11,000千円 ・法面工:1ha 6,000千円 ・仮設道設置:100m 1,000千円 ・芝生新設:1ha 26,000千円	多額必要△	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	ほぼ不要◎	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	ほぼ不要◎	経費:13,000千円 ・芝生補修:1ha 13,000千円	ほぼ不要◎
3	会場としての形状	・円形すり鉢状 【夢の庭】 (150m×220m)	良好◎	・長方形 【多目的グラウンド】 (125m×165m)	良好◎	・長方形 【新規造成地】 (57m×200m:幅狭い) 入口幅狭い(9m程度)	やや不良△	・長方形 【自由広場等】 (120m×280m)	良好◎	・長方形 【ひばりグラウンド】 (70m×130m)	良好◎	・長方形 【グラウンド】 (120m×130m)	良好◎	・長方形 【新規造成地】 (100m×100m)	良好◎	・長方形 【新規造成地】 (100m×150m)	良好◎	・半円形 【太陽の広場】 (70m×130m)	良好◎	・長方形 【芝生ランド】 (100m×700m)	良好◎	・円形すり鉢状 【多目的広場】 (100m×200m)	良好◎
4	アクセス状況① 主要ICからの距離 【30分以内】	・甲南IC (8km、13分)	30分以内◎	・信楽IC (11km、14分)	30分以内◎	・木之本IC (12km、16分)	30分以内◎	・栗東湖南IC (9km、14分) ・竜王IC (10km、18分)	30分以内◎	・八日市IC (6km、9分)	30分以内◎	・彦根IC (6km、10分)	30分以内◎	・彦根IC (8km、13分)	30分以内◎	・湖東三山IC (10km、19分)	30分以内◎	・信楽IC (5km、8分)	30分以内◎	・栗東IC (8km、18分) ・竜王IC (9km、16分)	30分以内◎	・竜王IC (2km、3分)	30分以内◎
5	アクセス状況② 主要駅からの距離 (60分以内)	・大津駅 (43km、44分)	60分以内◎	・大津駅 (39km、39分)	60分以内◎	・長浜駅 (33km、38分)	60分以内◎	・大津駅 (29km、33分)	60分以内◎	・米原駅 (26km、32分)	60分以内◎	・米原駅 (13km、22分)	60分以内◎	・米原駅 (15km、26分)	60分以内◎	・米原駅 (19km、34分)	60分以内◎	・大津駅 (33km、32分)	60分以内◎	・野洲駅 (7km、14分)	60分以内◎	・野洲駅 (31km、22分)	60分以内◎
6	アクセス状況③ アクセス道路の状況	・市道、広域農道(2車線)	良好◎	・市道(1車線:離合可)	良好◎	・県道(2車線)	良好◎	・市道(1車線:離合不可、当日は一方通行で対応)	概ね良い○	・県道(2車線)	良好◎	・国道(2車線)	良好◎	・国道(2車線) ・会場進入路急傾斜	概ね良い○	・町道(1車線:離合不可、通行やや難) 橋梁(大型車不可)	やや不良△	・国道(2車線)	良好◎	・県道(2車線)	良好◎	・県道(2車線)	良好◎
7	バス乗降場所【施設内】 【500m ² 以上】	・施設駐車場 (約2,000m ²)	500m ² 以上◎	・施設駐車場 (約2,400m ²)	500m ² 以上◎	・併設道路で対応 (約2,000m ²)	500m ² 未満△	・併設道路で対応 (約2,000m ²)	500m ² 未満△	・施設駐車場 (約2,500m ²)	500m ² 以上◎	・併設道路で対応 (約2,000m ²)	500m ² 未満△	・併設道路で対応 (約2,000m ²)	500m ² 未満△	・施設駐車場 (約2,000m ²)	500m ² 以上◎	・施設駐車場 (約2,000m ²)	500m ² 以上◎	・施設駐車場 (28,567m ²)	500m ² 以上◎	・施設駐車場 (10,430m ²)	500m ² 以上◎
8	荒天会場 【500人以上】 ※現段階で想定される施設を参考として記載	・あいこうが市民ホール等 1,282人	500人以上◎	・あいこうが市民ホール等 1,282人	500人以上◎	・(仮称)北部地域総合体育館 2,000人(2020.4オープン)	500人以上◎	・湖南省総合体育館 2,000人	500人以上◎	・布引運動公園体育館 2,000人	500人以上◎	・彦根市文化プラザ 1,480人	500人以上◎	・彦根市文化プラザ 1,480人	500人以上◎	・彦根市文化プラザ 1,480人	500人以上◎	・あいこうが市民ホール等 1,282人	500人以上◎	・野洲市野洲文化ホール 1,000人	500人以上◎	・竜王町ドラゴンハット 5,000人	500人以上◎

第72回全国植樹祭 開催候補地選定個別評価表

資料2-2

市町等名	甲賀市		長浜市	湖南市	東近江市	多賀町			滋賀県					
	項目	鹿深夢の森	水口スポーツの森	余呉町菅並地区	野洲川親水公園	ひばり公園	B&G海洋センター	富之尾地区	高取山ふれあい公園	(所在地:甲賀市) 陶芸の森	(所在地:野洲市) 希望が丘文化公園 (芝生ランド)	(所在地:竜王町) 希望が丘文化公園 (多目的広場)		
Ⅲ その他参考となる事項														
1	開催候補地の回答区分	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答	市町回答		
2	森林・林業との関わりや会場の景観等	<ul style="list-style-type: none"> ・当市は、野洲川上流に位置する琵琶湖の水源地である。 ・「甲賀ヒノキ」として知られる良質ヒノキの生産地である。 ・市民も森林保全や緑化意識が高く、間伐面積および「緑の豊か」はともに県内一位の実績がある。 ・地元市民活動団体の協力を得ながら琵琶湖の水源地として下流府民との上下流連携による森林づくりに取り組むとともに、甲賀木の駅プロジェクトや県内初のCLT建築物等、地域産木材の循環利用にも積極的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は、静かな山村地域にあり、緑に囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は、利便性の高い都市部にあるが、野洲川と緑にも囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当市は、琵琶湖の最北端に位置する琵琶湖の水源地である。 ・自伐型林業の推進や、ながはま森林マッチングセンターによる山村資源の利活用と人材育成、広葉樹の活用など新たな森林ビジネスの創出に取り組んでいる。 ・候補地の対岸の菅並集落には、湖北の代表的な余呉型民家で構成される全国的にも貴重な山村集落景観が広がっている。 ・候補地の周辺森林は半世紀わたり手つかずの多様な広葉樹が広がり、新たな森林再生の可能性を秘めた森林である。 ・会場は、静かな山村地域にあり、琵琶湖の源流となる高時川と緑に囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市近郊林としての生活環境の保全や教育的観点から整備育成を図るための施策を展開している ・市の南側にある阿星山系には、国の天然記念物であるうつくし松自生地がある。 ・会場は、当市の中央を横断し琵琶湖まで流れている野洲川河川敷にあり、南側の阿星山系、北側の岩根山系に挟まれた自然豊かで緑に囲まれた場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当市は、鈴鹿の山々から琵琶湖までを抱え、鈴鹿10座を中心とした登山やエコツーリズム、河辺いきもの森を拠点とした里山保全活動等により、「森」「里」「湖」のつながりを感じることができる地域である。 ・愛知川上流域の永源寺地域は、「永源寺スギ」の生産地であり、古くから「木地師」の里として木工品の生産が盛んな林業地である。 ・会場は、昔ながらの田園風景が広がる湖東平野の中心に位置し、鈴鹿の山々も眺望できる緑に囲まれた場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当町は、犬上川上流に位置する琵琶湖の水源地である。 ・町内の林業関係者や行政等との連携により、多賀町産木材の循環利用として公共施設の整備や民間活用に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は、町役場の近隣地であり利便性が高い場所であるとともに、緑に囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は、静かな山村地域にあり、緑に囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会場は、静かな山村地域にあり、緑に囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設のある甲賀市は、野洲川上流に位置する琵琶湖の水源地である。 ・会場は、緑に囲まれた自然豊かな場所である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設のある野洲市は、琵琶湖に注ぐ野洲川の中流に位置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設のある竜王町は、琵琶湖に注ぐ日野川の中流に位置する。
3	開催候補地としての意向	甲賀市での開催を要望(市:第1希望)	甲賀市での開催を要望(市:第2希望)	長浜市での開催を要望	湖南市での開催を要望	東近江市での開催を要望	多賀町での開催を要望(町:第1希望)	多賀町での開催を要望(町:第3希望)	多賀町での開催を要望(町:第2希望)	<参考>甲賀市意見 甲賀市での開催を要望 市の回答施設を優先希望	<参考>野洲市意見 当施設での開催を要望	<参考>竜王町意見 決定した場合は協力について検討		
4	他の全国規模の行事状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2024国民体育大会(他施設を利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2024国民体育大会(軟式野球:当施設を利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2018全国「みどりの愛護」のつどい(4月または5月に開催:他施設を利用)【皇太子同妃両陛下参加】 ・2021ワールドマスターズゲームズ(他施設を利用) ・2024国民体育大会(他施設を利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・シニアソフトボール大会(毎年8月に開催:当施設を利用) ・2024国民体育大会(他施設を利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・2021ワールドマスターズゲームズ(軟式野球(5/15~21):当会場を利用) ・2024国民体育大会(他施設を利用) 	特になし	特になし	特になし	<ul style="list-style-type: none"> ・信楽作家市(毎年5月上旬に開催:当施設を利用) 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国中学校駅伝大会(毎年12月中旬に開催:芝生ランドを利用) ・びわ湖カップ少年サッカー大会(毎年8月中旬に開催:芝生ランドを利用) ・びわ湖カップなでしこサッカー大会(毎年2月中旬に開催:芝生ランドを利用) 			
5	【補足調査】 開催後の会場利活用(式典会場跡地を、どのように活かしていきたいか)	<ul style="list-style-type: none"> ・開催後は、お手植え木等を適切に管理するとともに、設置した構造物等を活用しながら、永劫的に市民の記憶にとどまり、琵琶湖の水を育む森林の役割と重要性を再認識される施設としたい。また、この施設を活用しながら、上下流連携の森づくりや木の駅プロジェクト等の取組を通じて、森林整備の促進、地域経済の活性化のモデルとして全国に発信していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催後は、お手植え木等を適切に管理するとともに、運動公園としての機能を損なわない程度に構造物等を活用しながら、永劫的に市民の記憶にとどまり、水源林の重要性が認識される施設としていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・候補地周辺の森林では、広葉樹に新たな価値観と利用の可能性を見出し、ユネスコエコパークの概念を取り入れた生態系の保全や持続可能な森林資源活用による森づくりを進め、新たな湖国のモデルとして山村振興と森林・林業の再生を目指している。開催後は、お手植え木等を適切に管理するとともに、まさにこうした取組を進める拠点として、山村集落景観や妙理の里などとともに一体的な活用を予定している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催後は、お手植え木を中心に記念施設として整備し、今まで以上に親水公園を全国的にPRし、市民の憩いの場として活用する。また、お手植え木等の管理については、永遠に伝承し、地域の緑化の意識向上と天然記念物うつくし松による地域振興の場として活用したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お手植え木は、シンボルツリーとして公園利用者等に幅広く触れ、観賞・親しんでいただくとともに、設置物等は、可能な限り利活用し、開催を契機とした記念日の位置づけやイベントの開催など検討したい。 ・また、芝生化された式典会場は、一般市民が使える市内唯一の天然芝ナイターサッカー競技場としてフル活用するとともに、周辺施設と併せて市内最大の緑と親しめる公園として市民の憩いの場としたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・当施設は、社会体育振興のため、体育・スポーツ普及地として心身の健全な発達と明るく豊かな生活の形成に寄与することを目的として設置しており、開催後も、この目的に沿って継続的に管理して行く。 ・また、お手植え木等については、周辺の自然環境と調和を図り、森林林業活性化へのメルマークとして適正に管理を行う予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催後は、お手植え木等を適正に管理しながら、林業の施業地として管理する予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催後は、お手植え木等を適正に管理しながら、引き続き林業振興の発信地として維持管理していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お手植え木等の適正管理に努めるとともに、平成30年3月策定予定の希望が丘文化公園基本計画に基づき、「広大なフィールドを活かした交流・憩いの場」、「多世代でのスポーツ・健康づくりの推進」、「貴重な自然を体験し楽しみながら学ぶ場」として、公園の役割を果たしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本六古窯のひとつに数えられる信楽焼の産地であり、当施設では1991年に世界陶芸祭も開催されている。 ・会場内の施設を式典会場控室等として利用可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「希望が丘文化公園将来ビジョン(平成27年12月策定)」に基づき、平成30~34年度を計画期間とする「希望が丘文化公園基本計画」を今年度策定する予定。 ・会場となる芝生ランドは、広大な芝生広場であり、家族での行楽や大会の開催など、柔軟に利用されている。 ・竜王ICから車で3分のロケーションであり、交通の便が良い。 		

市町等ヒアリングによる
・市町域での主な取組
・会場のアピールポイント
・開催後の会場利活用
・地元との関わり 等

第72回全国植樹祭 開催候補地選定総合評価表

資料2-3

市町等名	甲賀市		長浜市	湖南市	東近江市	多賀町			滋賀県		
	鹿深夢の森	水口 スポーツの森	余呉町 菅並地区	野洲川 親水公園	ひばり公園	B&G 海洋センター	富之尾地区	高取山 ふれあい公園	(所在地:甲賀市) 陶芸の森	(所在地:野洲市) 希望が丘文化公園 (芝生ランド)	(所在地:竜王町) 希望が丘文化公園 (多目的広場)
I 会場の面積要件等(必須条件)											
総合評価	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
・全て【適】の場合 : ◎ ・上記以外 : 無印	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0	適:4 不適:0
II 植樹祭の会場としての適性(使いやすさ等)											
総合評価	◎	○								○	○
・全て【◎】の場合 : ◎ ・【◎】と【○】の場合 : ○ ・上記以外 : 無印	◎:8 ○:0 △:0	◎:6 ○:2 △:0	◎:5 ○:1 △:2	◎:5 ○:1 △:2	◎:6 ○:1 △:1	◎:6 ○:1 △:1	◎:4 ○:2 △:2	◎:5 ○:0 △:3	◎:7 ○:0 △:1	◎:7 ○:1 △:0	◎:7 ○:1 △:0
III その他参考となる事項											
・森林・林業との関わり	・森林・林業との関わりが深い (「甲賀ヒノキ」として知られる林業地、上下流連携の森づくり、木の駅プロジェクト)	・森林・林業との関わりが深い (「甲賀ヒノキ」として知られる林業地、上下流連携の森づくり、木の駅プロジェクト)	・森林・林業との関わりが深い (水源地域、自伐型林業、新たな森林ビジネスの創出)		・森林・林業との関わりが深い (「森」「里」「湖」のつながり、木地師の里)	・森林・林業との関わりが深い (町産木材の循環利用)	・森林・林業との関わりが深い (町産木材の循環利用)	・森林・林業との関わりが深い (町産木材の循環利用)			
・他の全国規模の行事状況				【開催準備・片づけ期間の重複】 ・シニアソフトボール大会(同年8月:当施設)	【開催期間の重複】 ・2021ワールドマスタースゲームズ(同年5/15~21:当施設)				【開催期間の重複】 ・信楽作家市(同年5月上旬:当施設)	【開催準備・片づけ期間の重複】 ・全国中学校駅伝大会(前年12月中旬:当施設) ・びわ湖カップ少年サッカー大会、びわ湖カップなでしこサッカー大会(同年8月中旬、前年2月中旬:当施設)	
・その他アピールポイント等	・上下流連携の取組により森林と琵琶湖との関わりを発信 ・開催後は、琵琶湖の水源地としての重要性が再認識される施設とし、森林整備の促進、地域経済活性化のモデルとして全国に発信したい	・開催後は、運動公園としての機能を損なわない程度に構造物を活用しながら、永劫的に市民の記憶にとどまり、水源林の重要性が認識される施設としたい	・丹生ダム建設予定地の活用により、山村振興と森林再生のシンボルとなりうる ・開催後は、ユネスコエコパークの概念を取り入れた生態系の保全や持続可能な森林資源活用による森づくりを進める拠点とし、新たな湖国のモデルとして山村振興と森林・林業の再生を目指す	・国の天然記念物である「うつくし松」の自生地 ・開催後は、お手植え木を中心に記念施設として整備し、地域の緑化の意識向上と天然記念物うつくし松による地域振興の場として活用したい	・市の新たな森林・林業ビジョンの策定 ・開催後は、お手植え木をシンボルツリーとし、開催を契機とした記念日の位置づけやイベントの開催などを検討するとともに、天然芝ナイターサッカー競技場として活用したい	・町産木材循環利用の取組が10年という節目の年 ・開催後は、お手植え木を森林林業活性化へのメルマークとして管理する予定	・開催後は、林業の施業地として管理する予定	・開催後は、引き続き林業振興の発信地として維持管理する		・広大な芝生広場であり、家族での行楽や大会の開催など、柔軟に利用	